

天皇	藤原氏	事項	文化
嵯峨	冬嗣	9世紀中・後期 前期摂関政治	弘仁・貞観文化
……	良房	842 承和の変	
清和	基経	858 清和天皇即位、良房が実質的な摂政	
光孝		866 応天門の変 良房が正式な摂政	
宇多	時	884 光孝天皇即位、基経が実質的な関白	
		887 宇多天皇即位、基経が正式な関白	
		888 阿衡の紛議	
醍醐	平	891 菅原道真が蔵人頭に抜てきされる	
		894 遣唐使の派遣中止	
朱雀	忠平	10世紀 律令体制の変質	
村上	平	901 右大臣菅原道真を大宰府に左遷 延喜の治	
		902 延喜の荘園整理令・最終班田	
冷泉	実頼	914 三善清行、「意見封事十二カ条」を進上	
		935 承平・天慶の乱（～41）	
……	……	958 乾元大宝の鑄造 天曆の治	
後一条	道長・頼通	10世紀後半～11世紀半ば 摂関政治の展開	
		969 安和の変 源高明を大宰府に左遷	
		988 尾張国郡司百姓等解文	
		995 藤原道長、内覧を命じられる	
		1016 藤原道長、摂政となる	
後三条	院政	1017 藤原頼通、摂政となる（関白1019～67）	
		1019 刀伊の入寇 藤原隆家ら、これを撃退	
白河	院政	1028 平忠常の乱（～1031 源頼信平定）	
		1051 前九年合戦（～1062 源頼義・義家平定）	
堀河	白河	1069 延久の荘園整理令	
		1083 後三年合戦（～1087 源義家平定）	
……	鳥羽	11世紀末～12世紀後期 院政	院政期文化
		1086 白河上皇、院政をはじめ	
	後白河	後白河	1095 北面の武士を設置
			1129 鳥羽上皇、院政をはじめ
			1156 保元の乱
			1159 平治の乱
			1167 平清盛、太政大臣となる
			1177 鹿ヶ谷の陰謀
1179 平清盛、後白河法皇を幽閉			
1180 安徳天皇即位 以仁王の令旨			

## 第4講

### 1 摂関政治

#### a 藤原北家の台頭

藤原冬嗣

葉子の変にさいして蔵人頭に就任（北家台頭の基礎）

藤原良房

承和の変（842年） 伴健岑・橘逸勢の排斥 道康親王立太子

清和天皇即位 事実上の摂政就任

応天門の変（866年） 伴善男の排斥 正式に摂政就任

藤原基経

光孝天皇即位 事実上の関白就任

宇多天皇即位 正式に関白就任 阿衡あこうの紛議

#### b 天皇親政の終焉

宇多天皇…寛平の治

菅原道真を登用（蔵人頭） 遣唐使廃止（894年）

醍醐天皇…延喜の治

左大臣藤原時平が右大臣菅原道真を大宰府に左遷（901年）

延喜の荘園整理令、班田の励行（902年）

延喜格式の編纂 『日本三代実録』編纂……「六国史」の最後

村上天皇…天暦の治

乾元けんげん大宝の鑄造（皇朝十二銭の最後）

#### c 摂関政治の全盛

安和の変（969年）……源高明の左遷 藤原北家の他氏排斥完了→以後、摂関常置

一族の内紛……兼通 vs 兼家 道長 vs 伊周

全盛期 藤原道長……御堂関白、4人の娘入内

藤原頼通……宇治関白、摂関在任最長（1017～67年）

特 徴 摂関の地位の条件 = 天皇の外戚

天皇政務の代行……摂政 = 天皇幼少 関白 = 天皇成人

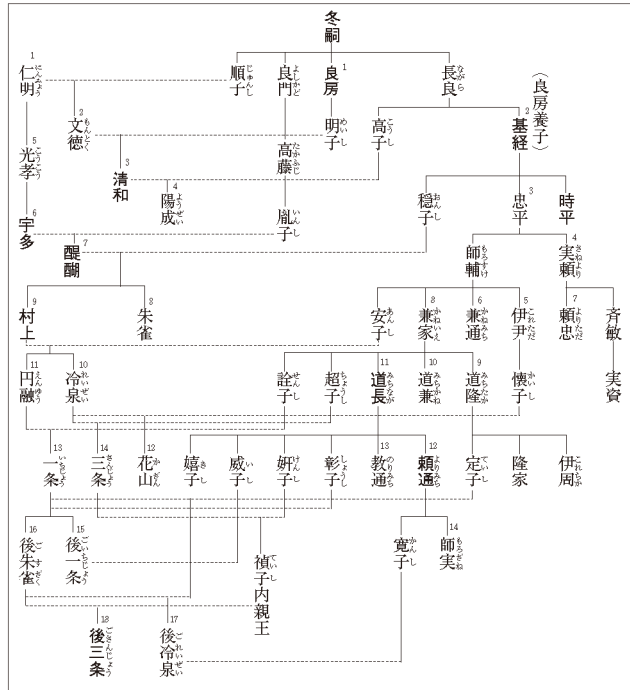
一族で要職独占

#### d 東アジア情勢の変化

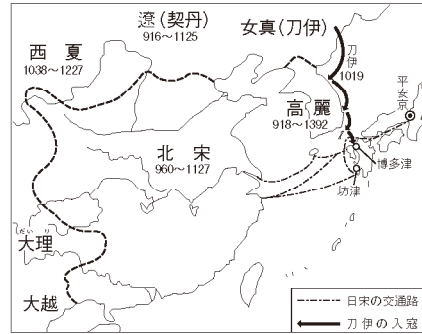
唐滅亡（907年）→宋（960年）

渤海滅亡→遼（契丹） 新羅滅亡→高麗

天皇家と藤原氏の関係系図(2) (太字は天皇、数字は即位順  
藤原氏の数字は摂政・関白の順)



10・11世紀ころの東アジア



藤原氏の栄華 (小右記)

(寛仁二年<sup>①</sup>十月) 十六日乙巳、今日、女御藤原威子<sup>いし</sup>を以て皇后に立つるの日なり(前太政大臣<sup>②</sup>の第三の娘、一家にして三后を立つること未だ曾て有らざるなり)……太閤<sup>③</sup>、下官<sup>④</sup>を招き呼びて云く「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし<sup>てえり</sup>者。答えて云ふ、「何ぞ和し奉らざらんや」と。又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず<sup>てえり</sup>者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の虧けたる事も無しと思へば」と。余申して云ふ、「御歌優美なり。酬答<sup>しゅうたう</sup>に方無し。満座<sup>まんざ</sup>只此御歌を誦すべし。……」

①1018年    ②③藤原道長    ④藤原実資